

1月29日(金)2限目に「養護教諭基礎演習Ⅰ」の授業見学に参加させていただきましたので報告書を提出いたします。

まず、担当された面川先生は、テキパキとした口調で学生さんに指示を出されていたのが印象的でした。中島総長先生も仰られる通り、学生がついていくことへの安心感が伝わる先生だと思いました。講義は、学生が問題文と選択肢を1つずつよみ、その後解説を読むというメソッド通りに進められていました。30～45秒で暗記をし、1分30秒で実際に書く、という時間もありました。面川先生の講義では、タイマーがセットされ、その音とともに授業が進んでいったため、集中力を継続すること、実際のテストでの時間を体感できる授業で、大変メリハリのある講義でしたので、私もタイマーを使う方法をぜひ実践していきたいと思いました。1台ごとに暗記が終わるとチェックとして確認テストがあり、その都度知識の確認がなされていました。教科書の本文と「その他」、等の部分も読んだ後に45秒ほどで毎回暗記する時間がとられていました。また終了時には各時間もとられ、暗記テーマとなる単語である、例えば「骨折」といった単語と解説を読んでもらい、その解説の中で大切な点を教員が読み上げ、アンダーラインを引いてもらうなどの指示が出されていました。最後に再度解答を読んでもらい、それを時間をとって暗記してもらうという形式で進められていました。

読み方でわからなかった言葉として「臍部」という単語が出てきました。説明はされていましたが、1度では学生さんにうまく伝わっていない様子でした。そのためその後何度か伝わるまで説明をされていました。私も説明をするときにうまく伝わっていないと思うことがあり、ビデオ通話にしたり、実際の資料を映したり、紙に実際に記載して画面に見せながら説明をすることがありますが、きちんと学生の理解が確認できるまで、何度も繰り返し伝えられるように今後も実践をしていきたいと思いました。今回は授業見学をする側に立てたことで、学生さんの気持ちがさらに分かったため、今後も分かりやすい授業や説明を心がけたいと思いました。

先生の言葉から「解答のノート」と「練習のノート」という言葉が出てきたことから、練習を書き込む用のノートと、本番の解答を書き込むノートが別にあるようでした。各先生方でそれぞれ国家試験対策のやり方には工夫があり、それを学生が行うことで合格に向けての指導がなされていると感じました。私も今回の授業見学を取り入れ、国家試験対策を行っていきたいと思いました。

本日は授業見学に参加させていただき、ありがとうございました。